



チッキー



クラちゃん

府中市総合型-f-スポーツクラブ

2022.1.16 in けやきの森学園「スポーツ・レクリエーション教室」



さまざまなスポーツを体験できる
「スポーツ・レクリエーション教室」を開催

府中市総合型-f-スポーツクラブの「f」には、府中市の「f」をはじめ、「Family」「Fight」「Free」「Friend」など、さまざまな意味が込められています。高橋弘蔵会長は「クラブの最大の特徴は障害者の会員が多いこと。健常者の方と一緒にできる種目に多く取り組んでいます」と語ります。

障害者の会員が多いのは、活動拠点の一つであるけやきの森学園の卒業生が多いことに由来します。特別支援学校の同校卒業後、卒業生がなかなか運動ができる環境がないという悩みを解決するべく、f-スポーツクラブでは、安藤美江副会長を中心に、障害者の方の受け入れを開始。最初はけやきの森学園の卒業生を中心に、少しずつ評判が広がっていき、多くの方が参加するようになっていきました。

また、府中市発祥のラリーテニス、スポーツ玉入れ、卓球バレー、ボッチャ、モルックなど、珍しいスポーツを多く取り入れていることも特徴の一つです。

特にスポーツ玉入れはクラブの代名詞とも呼べる種目。実際、クラブの発足時に高橋会長、安藤副会長らがスポーツ玉入れの発祥の地である和寒町（北海道）を訪れ、ノウハウを学んできたという歴史があります。みんなが一度は体験したことがある種目であり、「クラブの目玉としてやっていきたい」と言います。

今後は「クラブの活動をより活性化していくためにもっと認知度を高めていきたい」と高橋会長。誰もがスポーツを楽しめる未来（Future）を目指して、f-スポーツクラブは精力的な活動を続けていきます。

クラブプロフィール

【設立】2011年10月

【事務局】東京都府中市小柳町4-11-10

【活動場所】けやきの森学園、白糸台体育館など

【活動種目】卓球、スポーツ玉入れ、ラリーテニス、ボッチャ、卓球バレー、モルック、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフなど

【特徴】

- 障害者の会員が多数
- スポーツ玉入れが人気
- モルックなど独自の種目が多数

【連絡先】

URL: <https://www.f-sports-club.com>

E-mail: info@f-sportsclub.com



①競技玉入れは4～6人の選手が合計100個のボール（アジャタボール99個＋アンカーボール1個）を、高さ4.12mのバスケットに入れるまでの時間を競うスポーツ（教室ではバスケットの高さを2.8mで実施）。②東京2020パラリンピックで注目される前からスタートしたボッチャも人気。③モルックは、フィンランド起源の対戦スポーツ。モルック棒を下から12本のスキトルを目掛けて投げ、倒れたスキトルの内容によって先に50点ピッタリ得点したチームが勝利となる。④卓球バレーは1チーム6人で椅子又は車椅子に座り卓球台を囲み木のラケットで打ち返し、バレーボールのルールに基づいて行う



▲高橋弘蔵会長（左）と安藤美江副会長（右）共にスポーツ玉入れの審判資格を取得している。